

Staff スタッフ



教授 子安 増生
Masuo Koyasu

発達心理学
視点理解、心の理論、創発的思考



教授 楠見 孝
Takashi Kusumi

認知心理学
比喩・類推、熟達化、批判的思考、意思決定



教授 吉川 左紀子
Sakiko Yoshikawa

(こころの未来研究センター)
認知心理学
顔・表情認識、コミュニケーション、対話



准教授 齊藤 智
Satoru Saito

認知心理学
作動記憶、意味記憶、言語産出、制御機能



准教授 野村 理朗
Michio Nomura

認知科学
感情認識・表出、自己制御、生命システム



特定助教 高橋 雄介
Yusuke Takahashi

教育心理学
パーソナリティ心理学、発達行動遺伝学

Access アクセス



京都市バス「百万遍」下車徒歩3分

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学大学院教育学研究科 教育認知心理学講座
電話 075-753-3050 (メディア準備室)

Cognitive Psychology in Education
Graduate School of Education, Kyoto University
Yoshida-Honmachi, Sakyo-Ku, Kyoto City
Kyoto 606-8501 Japan
TEL +81 75 753 3050

教育認知心理学講座ホームページ
<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/cogpsy/index.htm>

(2013.4)

世界で活躍する認知心理学の リーダーを育成する

京都大学大学院教育学研究科
教育認知心理学講座



Cognitive Psychology in Education
Graduate School of Education, Kyoto University



Research 研究

認知心理学の主要な課題は、記憶、思考、感情、言語、知識、意思決定、イメージといった種々の心のはたらきを実証的な手段を用いて解明してゆくことにある。本講座では、教育に関わる心理的諸現象を認知心理学・生命科学などの方法を用いて幅広く研究している。特に、子どもの認知発達・教授-学習に関する研究、記憶・感情・思考・言語・知識獲得・社会的認知に関する研究、顔・表情の認識など対人理解やコミュニケーションに関する基礎研究を行っている。

設備

実験室: 小集団実験、個人実験が可能な17室がワンフロアに

主な装置: fNIRS2台、眼球運動測定装置2台、生体信号測定装置、遺伝子解析装置、個別実験用コンピュータ

院生室: 机とPCを一人ずつに貸与(研究者養成コース)



Education 教育

■学部教育

1、2年で全学共通科目と基礎専門科目を学び、3年生から教育心理学系に所属し、認知心理学と臨床心理学を基礎から学ぶ。

■大学院教育

研究者養成コース(教育科学専攻):

修士課程(2年)を修了後、博士後期課程(3年)への進学を希望する人のためのコース。修士課程のみの修了も可能。

専修コース(人間文化論専修):

社会人、高度の専門職業人を目指す人を対象とした2年制コース(修士課程のみ)。

デザイン学大学院連携プログラム:

研究者養成コース入学後、修士1年次の予科課程を経て、希望によりこのプログラムに参加する(平成25年度入学者より開始)。

■卒業・修了後の進路(2000年以後)

教育学部教育心理学系

法務省、家庭裁判所調査官補、大阪市役所、徳島県庁、NHK、福井放送、毎日新聞、三井住友銀行、みずほ銀行、中央三井信託銀行、京都銀行、住友生命保険、JR九州、阪急、大和ハウス工業、NEC、ミキハウス、ベネッセ、リクルート、ユーキャン、ウィルソン・ラーニング・ワールドワイド、DeNA、NTTデータ ほか

大学院教育学研究科教育認知心理学講座

大学教員(静岡大学、名古屋大学、滋賀医科大学、京都大学、神戸大学、岡山大学、山口大学、大阪市立大学、昭和女子大学、東洋大学、明治学院大学、追手門学院大学、広島修道大学、西日本工業大学、九州国際大学、いわき短期大学、大阪音楽大学短期大学部など)、研究所研究員(鉄道技術総合研究所など)、ポスドク研究員(東京大学、総合研究大学院大学、名古屋大学、京都大学、福井大学、大阪市立大学、慶應義塾大学、イエール大学、ウイスコンシン大学、スティーブンス工科大学、マンチェスター大学など)、大阪国税局、高等学校教員、小学校教員、民間企業(三菱東京UFJ銀行、JR九州) ほか

Design School デザイン学大学院連携プログラム

国際社会は今、温暖化、災害、エネルギー、食糧、人口など複合的な問題の解決を求めている。本プログラムでは、異なる分野の専門家との協働によって「社会のシステムやアーキテクチャ」をデザインできる博士人材を育成するため、5つの専門領域(情報学、機械工学、建築学、経営学、心理学)の協力によってデザイン学の学位プログラムを構成している。各領域でデザインに関わる科目(デザイン学領域科目)を揃え、専門に根差した教育を行うと共に、領域横断的なデザイン理論とデザイン手法に関わる科目(デザイン学共通科目)によって、専門領域を超えた教育を行う。

<http://www.design.kyoto-u.ac.jp/people/index.html>

